

シラバス参照

科目名	接客英語Ⅱ (CR英語)
配当年次	1年次
開講期間	後期
単位数	2
担当教員	三國 信夫(ミクニ ノブオ)
期間・曜日・時限・教室	後期 水曜日 1時限 13-202

※	
授業の目的・目標	<p>(1)授業の概要 語学・基礎</p> <p>(2)授業の目的 訪日外国人観光客が急増する昨今、接客業においても外国人観光客への対応が迫られています。この授業では、実際の接客場面でどのような英語表現を使用したら良いのか、具体的なシーンを想定しながら重要な英語表現を学んでいきます。</p> <p>(3)学習成果 就職後にも役に立つ英語が身につきます。 英語を通してコミュニケーション力が身につきます(①前に踏み出す力)。 接客英語を学ぶことで、就職活動の準備もできます(⑤ビジネススキル)。</p> <p>(4)授業の到達目標 広い教養と、深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力(ディプロマポリシーの①)。</p>
準備学習等の指示	前週までの復習を十分にして、授業に臨んでください。 毎回、授業開始直後に小テストを行います。
講義スケジュール	<p>以下のことが身につく。 なお、授業では、ペアワークやグループワークなどの「アクティブ・ラーニング」を多用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あらためて接客英語を学ぶ必要性について学ぶ。 2 接客英語の応用表現①を学ぶ。 3 接客英語の応用表現②を学ぶ。 4 接客英語の応用表現③を学ぶ。 5 レストランでの英語表現①を学ぶ。 6 レストランでの英語表現②を学ぶ。 7 レストランでの英語表現③を学ぶ。 8 ホテルでの英語表現①を学ぶ。 9 ホテルでの英語表現②を学ぶ。 10 ホテルでの英語表現③を学ぶ。 11 販売業での英語表現①を学ぶ。 12 販売業での英語表現②を学ぶ。 13 電話対応の英語表現①を学ぶ。 14 電話対応の英語表現②を学ぶ。 15 まとめと試験
教科書	授業開始時に指定します。
参考文献	
授業の方法	講義(30%)と演習(70%)。 特に演習(ディスカッション等)には多くの時間を割きます。
成績評価方法	<p>(1)評価方法 課題・試験</p> <p>(2)割合 50:50</p> <p>(3)評価基準 それぞれ70%以上</p> <p>(4)フィードバックの方法 レポートに対するコメント</p>
オフィスアワー	年度初めに発表する。
居室	13号館6階 13-601

ホームページ	
その他特記事項	
添付ファイル	